

バンクリニューアル記念NIPPO杯スポーツニッポン杯争奪戦



10/7(土) 8(日) 9(月) FI ナイター開催 川崎スポーツ

レース展望

10月7日から開催される川崎競輪はF1ナイター。長い改修期間を経ていよいよ再開される。初戦となるこのシリーズはトップクラスの選手も多くあっせんされており、迫力満点の走りに期待できそうだ。新たな走路のクセや特徴はまだ未知だが、下記のバンク紹介を参考にしていきたい。

S級戦では南関ラインが強力。根田空史(千葉94期)を筆頭に青野将大(神奈川117期)や、佐々木真也(神奈川117期)に、

道場晃規(静岡117期)らが名を連ね機動力は充実。地元の中核となる内藤秀久(神奈川89期)は新バンクのオープニングをVで飾りたいところ。その南関の最大の難敵となるのは山口拳矢(岐阜117期)。勢いに乗るダービー王の鋭いまくりには要注意。他には自在な窓場千加頼(京都100期)や森田優弥(埼玉113期)に、取島雄吾(岡山107期)一桑原大志(山口80期)らの中国コンビもV争いに加わりそうだ。

A級戦も南関勢が強力。望月一成(静岡113期)の機動力を中心に地元のベテラン三住博昭(神奈川61期)や地元戦に強い伊藤彰規(神奈川94期)がラインを固める。他地区からは若い安彦統賀(埼玉122期)や機動力高い久樹克門(徳島113期)が参戦。決め脚シャープな小笠原昭太(青森76期)は北の機動型の頑張り次第だが、目標不在でも中団以内に位置できれば。

アーバンバンクが遂に再始動!!

S級
主力選手



根田空史 千葉 94期

デビュー以来、徹底先行を貫き通す南関屈指の自力型。立ち遅れた際にはもろさを見せる面はあるものの、F1クラスなら主導権を奪ってしまえば、後続を一本棒にして最後に強地脚を発揮する。川崎バンクとの相性もマズマズで、連日レースを引っ張るはずだ。

S級
主力選手



山口拳矢 岐阜 117期

今年は平塚ダービーを制覇するなど、飛躍の年となった山口拳矢。流れに応じた立ち回りから繰り出すまくりが主戦法で、実力者がひしめく今シリーズでは山口の上手さがモノを言いそうだ。若手の台頭が目立つ昨今、若きタイトルホルダーがニューリーダーとして躍動するか。

S級
主力選手



青野将大 神奈川 117期

現在はS1班として活躍する地元期待の機動型。メンバー次第で思い切ったレースをすることもあれば、流れに応じて柔軟に勝ちを目指すめりはりのある機動型。その場で自分の役割を把握できる競輪脳の高さも魅力だ。地元戦でしっかりと優出を決めたいところだろう。

A級
注目選手

望月一成
静岡 111期

今期はA降級となった望月一成だが、各地で一格上の機動力を見せている。「A級では警戒されることが増えているけど、攻める気持ちを忘れないように」と話すように、しっかりと積極的な走りを見せている。優勝候補の筆頭であり、地元勢の先導役としても頼もしい。

A級
注目選手

安彦統賀
埼玉 121期

デビューから2年目を迎えた安彦統賀は、先行基本の自力勝負で安定した成績を残している。太田真一(埼玉75期)を師に仰ぎめきめきと成長を続ける。今年3月にはルーキーチャンピオンを制するなど、ここ一番の勝負強さも見せた。流れ次第で柔軟な走りもできる期待の若手。

対馬太陽神奈川選手会支部長に聞く川崎新バンクガイド



対馬太陽選手(神奈川85期)

バンクやスタンドの改修が行われた川崎バンクは、かなり特徴に変化が見られそう。ホームバンクの南関東地区本部長でもある対馬太陽選手(神奈川85期)に聞くと「バンクがきれいになり、走路のガタツキが取れて、クセも無くなり走りやすくなった。あとはホームの向かい風が少し強く感じるようになった気がします」と話す。同じ南関地区なら、平塚や静岡競輪場に近付いたイメージで最初は予想してみたい。

競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。